

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者<sup>※</sup>の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt;</p> <p>小児の腹部外傷患者における安静・長期臥床による骨格筋量の変化の検討</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 病理診断科 (研究責任者) 羽尾 裕之</p>
<p>&lt;研究期間&gt;</p> <p>承認日 ~ 令和 7 (西暦 2025) 年 3 月 31 日</p>
<p>&lt;対象となる方&gt;</p> <p>西暦 2009 年 4 月 1 日 ~ 西暦 2023 年 4 月 1 日の期間に小児外科で腹部外傷の治療を開始された方</p>
<p>&lt;研究の目的&gt;</p> <p>腹部外傷において、臓器（肝臓、脾臓、膵臓、腎臓、副腎）損傷をきたした場合、開腹手術を回避して安静加療をおこなう非手術療法（non-operative management: NOM）に記載されています。ただし、NOM における合併症や安静期間の長さの妥当性は不明瞭です。本研究では安静治療によってきたす筋肉量や脂肪量の変化に注目し、NOM における安静期間の長さの妥当性や合併症について明らかにすることを目的とします。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt;</p> <p>上記の対象の方のカルテの記載（年齢、臓器損傷の程度、合併症の有無、食事摂取量、体重の変化）を集めます。また、経過中に経時的に撮影した CT 画像から体の筋肉や脂肪の量を計算し、安静治療によるこれらの変化を算出します。この結果と合併症の発生率との相関関係を考えます。</p>
<p>&lt;外部への試料・情報の提供の方法&gt;</p> <p>CT 画像に関して、解析のため海外の機関への提供を考えています。 提供方法として、電子的配信を予定しています。</p>
<p>&lt;外国にある者に試料・情報を提供する場合&gt;</p> <p>提供する外国の名称：オランダ オランダにおける個人情報の保護に関する制度に関する情報:オランダに送付留守差異は全て匿名化した情報でやり取りを行うため、オランダの個人情報保護の制度には関与しません。 個人情報の保護のための措置に関する情報：上記の通り、関与しません。</p>

<研究に用いる試料・情報の項目>

当院で保管されているカルテから、血液検査データ、CT 画像データ、診療記録、身長、体重、入院中の食事摂取量、点滴の内容、リハビリテーションの介入時期といった情報を集めます。

本研究において、試料は用いません。

<お問い合わせ窓口>

日本大学板橋病院 人体病理学分野 傳田 侑也

住所：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

連絡先：03-3972-8111（内線）2252

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方